令和６年度　学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立砂山小学校
作成日	令和　7年　3月　7日

1　教育目標

豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる子供を育てる
【めざす子供像】
「す」てきな言葉いっぱい　「な」かよしの輪いっぱい　「や」る気いっぱい　「ま」ごころいっぱい

2　学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○全国学調での正答数が全国平均を上回る。 ○県学習到達度調査での正答数が県平均を上回る。 ○子供がわかる授業、子供主体の授業実践をする。 ○読書好きな子を育てる。	○いじめのない学校づくりをする。 ○保護者と連携しながらの道徳−人権教育の充実。 ○挨拶のできる子供の育成 ○清掃活動に励む子の育成	○「早寝、早起き、朝ごはん」に家庭で取り組めるよう啓発する。 ○全校で体力づくりをする。 ○避難訓練を年３回計画・実施する。 ○スマホやSNSの正しい使い手となれるよう、ネットモラルの学習の充実を図るなど、家庭と連携して取り組む。	○学校の情報を積極的に発信し、子供たちの活動の様子等を保護者と地域に伝えられるようにする。 ○学校、保護者、地域の接続、連携、協力の充実に向け、実践する。
重点目標に対する意見	○すべての子供に豊かな学びの場の保障し、基礎学力の向上を図ってほしい。 ○図書館教育の充実、読書活動の充実を今後も推進してほしい。 ○砂山地区を愛する子供たちを育ててほしい。	○アンケート結果も90%以上が多く、良好だと感じます。ただ、常に100%を目指すことが、教育活動においては大 切だと考えます。 ○学校評価アンケートを見ると、学校が楽しく、友達と仲よくしている割合が高くうれしく思う。いじめのない学校はもちろん、豊かな心を育成する教育活動を今後も続けてほしい。	○保護者、地域と連携しながら家庭教育支援の充実を図っていきたい。 ○南海東南海地震や不審者対応に備えた避難訓練等、防災学習の充実を図っていきたい。	○低学年への学習支援や高学年の家庭科学習支援等、砂山地域の方々に協力していただける取組は、大変貴重な機会であり、今後も積極的に進めていきたい。 ○コロナ禍以降できていなかった「昔遊び体験」を実施することができた。
取組状況に対する意見	○全国学調、県学習到達度調査で、全ての結果が平均を上回ったのは評価できる。 ○正答率に一喜一憂するのではなく、結果をきちんと分析し、地道に課題解決の具体的取り組みを提案していただけることで、学校運営協議会においても協力していける範囲が広がってくるのではないかと考える。	○50年以上も続くろう学校児童生徒との交流は、子供たちにとって計り知れない大きな学びとなっています。 ○西和中学校区の4小学校の6年生児童が中学校入学前に交流する4校交流会や砂山保育所との交流も続けている。今後も、実際にコミュニケーションをとりながらの交流を大切にしていきたい。	○SNSの使い方等のネットモラルについての学校の具体的な取組への質問 ○遅刻の状況や朝ごはんを食べて来ていない子はどれくらいいるのか。また、家庭の状況はどのようなものか。	○学習ボランティアとして、毎年学習支援に協力させていただいているが、上の学年に上がるにつれて、子供たちがしっかりしていくのがわかる。 ○6年生を送る集会を参観したが、どの学年の発表も素晴らしく、姿勢態度も大変立派であった。
取組の適切さの検証結果に対する意見	○「考えの根拠をはっきりさせて、要点を踏まえた説明する力」や「複数の情報を関連付けて思考する力」の育成に取り組む必要がある。 ○授業で学習した内容と関連づいた課題を宿題として取り組ませることで、普段の授業において学習することの喜びを実感させながら、家庭学習の習慣化を図っていくようにします。	○保護者、地域に学校の状況を積極的に発信し、学校と保護者、地域が相互理解しながら学校教育を進めていく必要があると考える。 ○いじめの早期発見、早期解決を目指す取組を、保護者と連携しながら進めていく。 ○体験・経験を大切にした教育活動を推進していってほしい。	○学校としての取組は進めていると思うが、学校だけでは解決できない家庭支援の課題が浮き彫りになってきたと感じる。 ○教育委員会や地域の協力を得ながら、「早寝・早起き・朝ごはん」等の家庭教育の推進に積極的に取り組んでいきたい。	○砂山連絡所を通して、学校便りを地域に配布しているが、学校の様子を知っていただく機会となって良かった。 ○修学旅行や加太合宿等の学校行事等を、HPで掲載する機会も増えて、学校に行かなくても様子が分かって良かった。
次年度に向けての改善方法に対する意見	○「個別最適な学び」と「協働的な学び」という視点から学習活動を捉え直し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる ○図書館教育の充実に取り組んでいきたい。 ○GIGAスクールパソコンを使用した授業改善に積極的に取り組み、授業参観や集会発表のWEB発信等も充実させていきたい。	○ハピネス・キッズ・ラボさんによる「フェア・トレード」の人権参観は、子供の人権、国際教育という視点でとても良かった。人権参観は保護者の啓発にもなるためこのまま続けていただきたい。 ○保こども園、中高生、ろう学校児童生徒との交流を積極的に進めることにより子供たちの心の教育をより一層推進してほしい。	○家庭において下記5点について、保護者に協力していただき、子供の自主性を育てていく。 ①生活リズムを整える。 ②学習の計画を立てる。 ③学ぶ雰囲気をつくる。 ④努力を認め、励ます。 ⑤親子の会話を大切にする。	○地域の皆様にご協力いただき、「砂山応援団」活動をより拡大充実させていきたい。 ○県立和歌山商業高校読書部のみなさんによる読み聞かせ教室は小学生の子供たちも大変楽しみにしている。今後もキャリア教育の観点からも連携発展させながら交流を深めたい。

3　その他のご意見

○令和6年度も様々な場面で、保護者、育友会、地域が連携協力して取り組むことができました。学校運営協議会委員様には、授業や六年生を送る集会を参観していただき、実際に子供たちの活動の様子を見ていただき、前向きな貴重なご意見をたくさんいただきました。
○砂山地域の皆さんとの交流活動が評価され、「令和6年度青少年育成功労賞」を和歌山市長様から表彰されました。今後も、保護者・地域の皆様の協力をいただきながら、より一層「地域と共に歩む学校」づくりを目指します。
○今年度も様々な教育活動があったと思いますが、取組を丁寧に振り返りながら、来年度の砂山小学校の教育活動がより充実したものになるように工夫改善していってほしい。
○令和7年4月に完成する西コミュニティセンターを活用した近隣校や地域の方々との交流活動を推進したい。